



みんながつながり 夢を育てる学校に

# 国立二小だより

平成31年2月1日  
国立市立国立第二小学校  
校長 小林 理人

## 「魂」と「愛」を感じる書き初め展

校長 小林 理人

寒い日が続いていますが4日は立春です。菜の花の甘い匂いが春の気配を感じさせてくれます。その菜の花をプラタナスの子供たちがおひたしにして校長室に届けてくれました。冬の寒さで甘さも増し、春を感じるごちそうに、心がポカポカと温くなりました。

1月19日（土）の学校公開にはたくさんの保護者、地域の皆様に、3学期の学校の様子や子供たちが真剣に取り組んだ書き初めの作品をご参観いただきました。そして、皆様からいただいたアンケートには「一人一人が心を込めて書いた様子が伝わります。」「大きく堂々と書いた作品に感動しました。」「子供たちの成長を感じます。」など心温まるうれしい感想が多数ありました。

子供たちの作品を仕上げる過程には一人一人のドラマがあります。冬休みに家族の温かい言葉に励まされながら一生懸命に練習をしたこと、席書会で気に入った作品を仕上げるために真剣に取り組んだことなど、その内容は様々です。そして、今年度の書き初め展では、全校児童全員の作品を展示することができました。どの作品も全力で仕上げた子供たちの「魂」と、ご家族の「愛」を感じる力作でした。「全ての子供の夢を育てる」ことを合言葉に教育活動を進めてきた本校にとって、全ての子供が納得のいく作品を仕上げ、展示できたことは大きな価値のあることです。私は、全校朝会で子供たちに、各学年の作品から感じたことを次のように伝えました。

- 1年生 ひらがなを覚えたばかりの一年生が、**じょうず**になって **びっくり**しました。
- 2年生 難しい漢字をたくさん使って **かっこよく** 書けました。
- 3年生 半紙いっぱい書いた「お正月」の文字から**頑張ろうという気持ち**が伝わってきました。
- 4年生 **楽しい気持ち**で「**明る**い心」を書いたことが分かります。心が伝わる作品です。
- 5年生「**早春の空**」からは新しい年を迎え、喜んでいる5年生の**元気な笑顔**を感じました。
- 6年生「**旅立つ時**」からは卒業に向けての**緊張感と二小を旅立つ寂しさ**を感じました。

そして、各学年の金賞に選ばれた子供たちに賞状を渡しました。各学年の金賞、銀賞の児童は裏面に紹介します。（銀賞については教室で担任から賞状を渡しました。）子供たちの「魂」が込められた作品と、それを支えたご家族の「愛」のドラマを感じる、二小らしい書き初め展になりました。

### 子供たちや保護者の皆様のアンケート結果を生かして

2月になると、新年度を迎えるための準備が始まります。先日は、1年生と5年生が近くの幼稚園や保育園児を迎え交流会をしました。そして、1年生はこれから4月の入学式で、新入生の手本や目標になるように歌や呼びかけの練習も始まります。他の学年も、今年度のまとめとともに新年度に向けての準備を始めています。そして、私たち教職員も学校評価の結果を生かし、国や東京都、国立市などの方針等も踏まえた新年度計画を作成します。そこで、本日、子供たちや皆様からいただいたアンケートを分析し、成果と課題をまとめた「学校アンケートのまとめ」を配布します。また、新年度の計画については、3月の学校だよりや保護者会での説明を予定しております。

まだまだ寒い日が続く2月ですが、4月に満開を迎える桜のように、（新年度に向けての）**準備**という言葉を意識します。そして、新年度を迎え、希望に満ちた1年間のスタートができるように、今年度のまとめと、新しい学年に向けての計画づくりや準備を進めます。